

趣意書

出船入船で賑わう佐渡の玄関口・両津港で開催した「佐渡國鬼太鼓どっとこむ」は、毎回一万人を超える来場者を迎え、島民によって名付けられた「おんでこドーム」とともに多くの方々より愛されるイベントに成長しました。

その中には、全来場者の三割におよぶ観光客も含まれ、大崎をはじめとする手打ちそばや獲れたての佐渡沖の魚、そして、地酒の数々など、佐渡の美味しい味をお客様に堪能して頂いています。

また、佐渡おけさや鬼太鼓を代表とする佐渡島内の芸能団体の実に四分の一に当たる二十五を超える団体が芸能を披露し、大きな反響を頂いています。

今、佐渡は観光客の減少や、景気の低迷など多くの問題を抱え、危機的な状況に直面しています。

しかし佐渡には、それぞれの地域で脈々と受け継がれ伝承されてきた伝統芸能があります。四季豊かな佐渡の自然に生まれ、人々によって伝えられてきた美味しい味があります。そして、人情豊かな人々がいます。佐渡が元気を無くしかけている今こそ、自らを奮い立たせる時ではないでしょうか。

佐渡の若者が、それぞれの地域でそれぞれの活動をし、活躍することこそが、私たちが佐渡の地に住み親しんでいる「証」であり、「誇り」ではないでしょうか。

この素晴らしい財産を多いに活用して、佐渡の魅力を再認識し、これら一つ一つの力を結集して、佐渡島民一丸となって、みなぎる力を佐渡から全国に発信しようではありませんか。

そして、佐渡が再び観光面、そして経済面でも活気あふれる島となる為の起爆剤となればと考えております。

佐渡市となった今、観光客の誘客をめざす佐渡全島挙げての事業であり、重要なイベントとしてこれを受け止め、佐渡発展の為に大いに努力する所存です。